



2019年12月期 第2四半期決算説明会

(四半期決算補足説明資料)

株式会社スペース

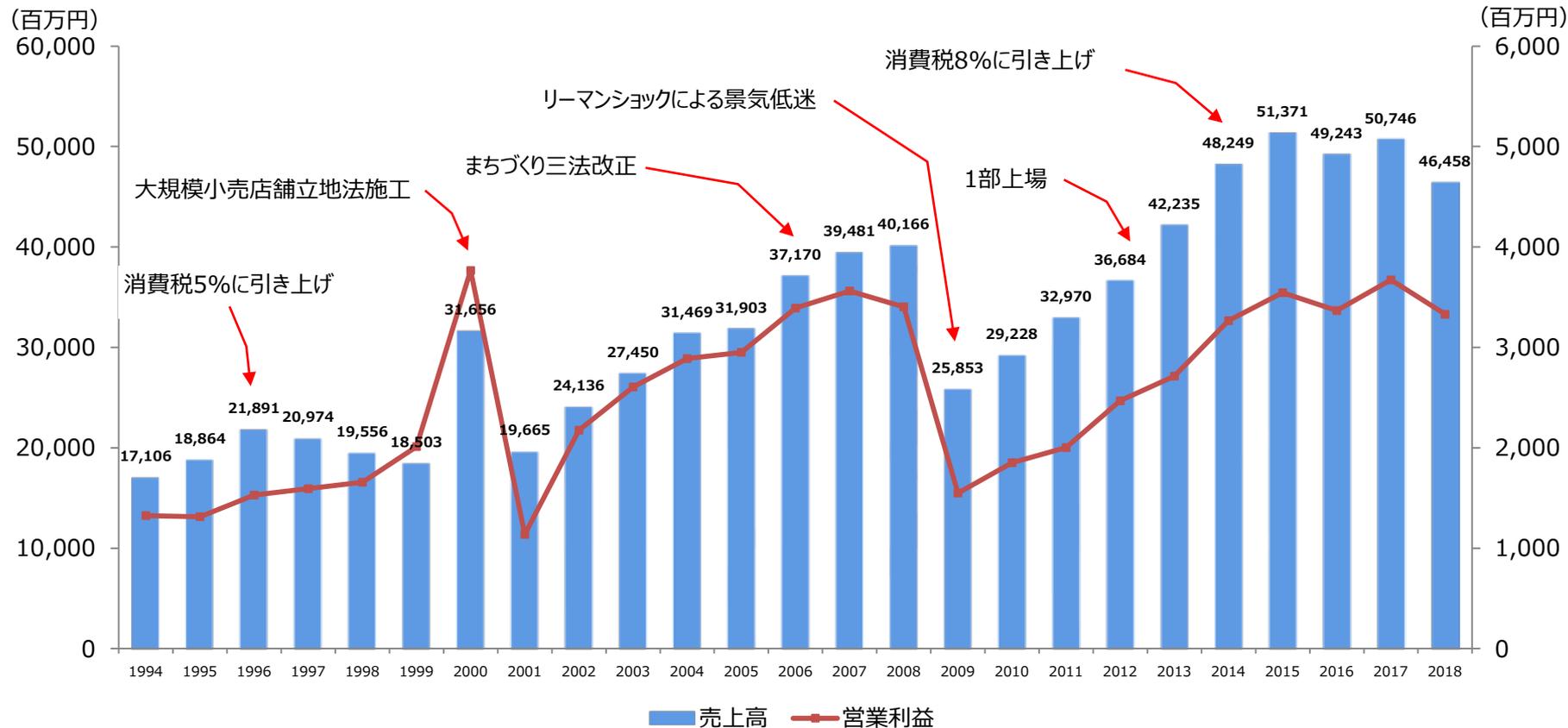
証券コード：9622

この説明資料には、将来に関する見通し、計画に基づく予測が含まれています。
社会・経済・業界状況の変動等に関するリスクや不確定要素により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

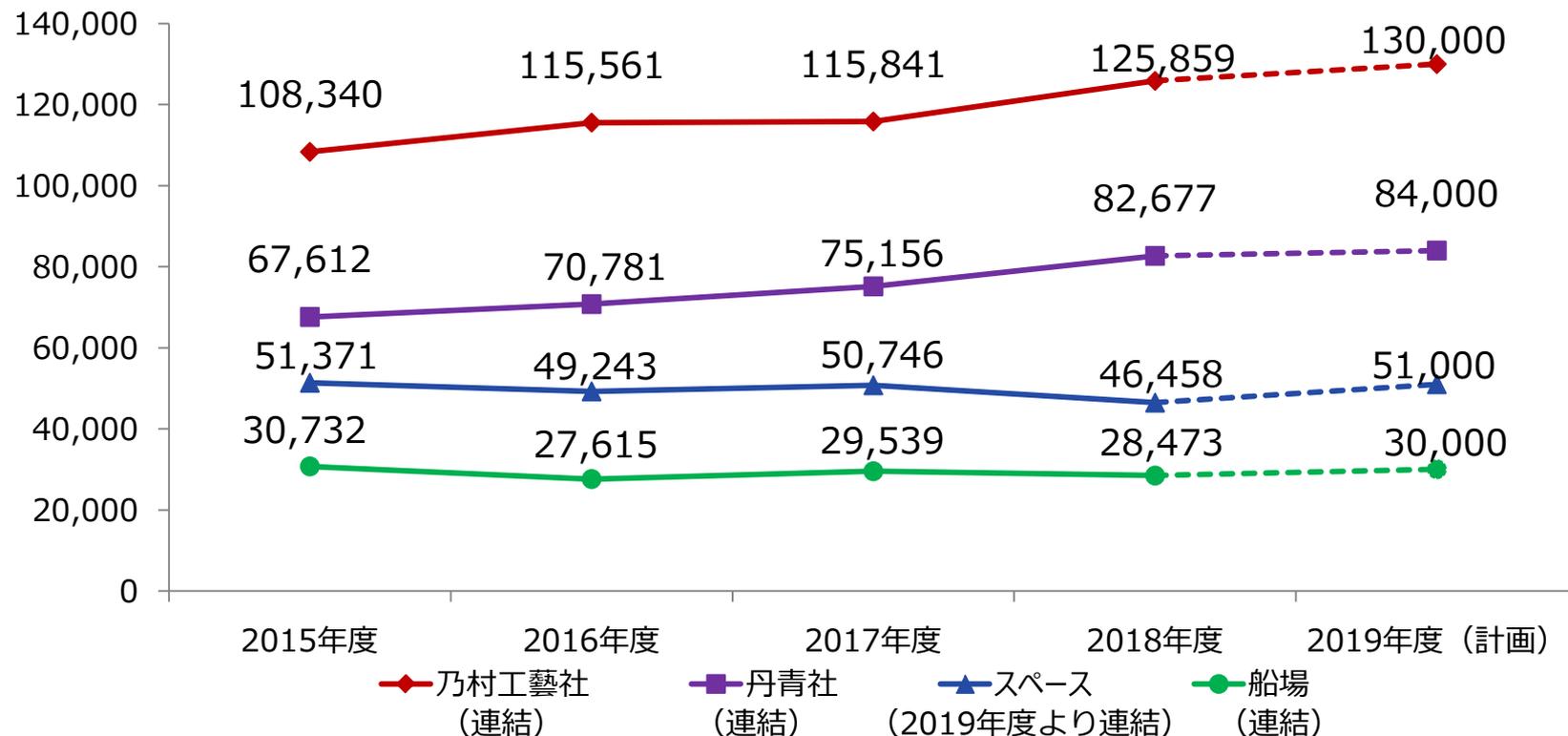
1. 事業環境の概要
2. 2019年度 第2四半期決算の詳細
3. 2019年度の通期見通し
4. 新中期経営計画（2020－2022）
5. 施工物件紹介

1. 事業環境の概要

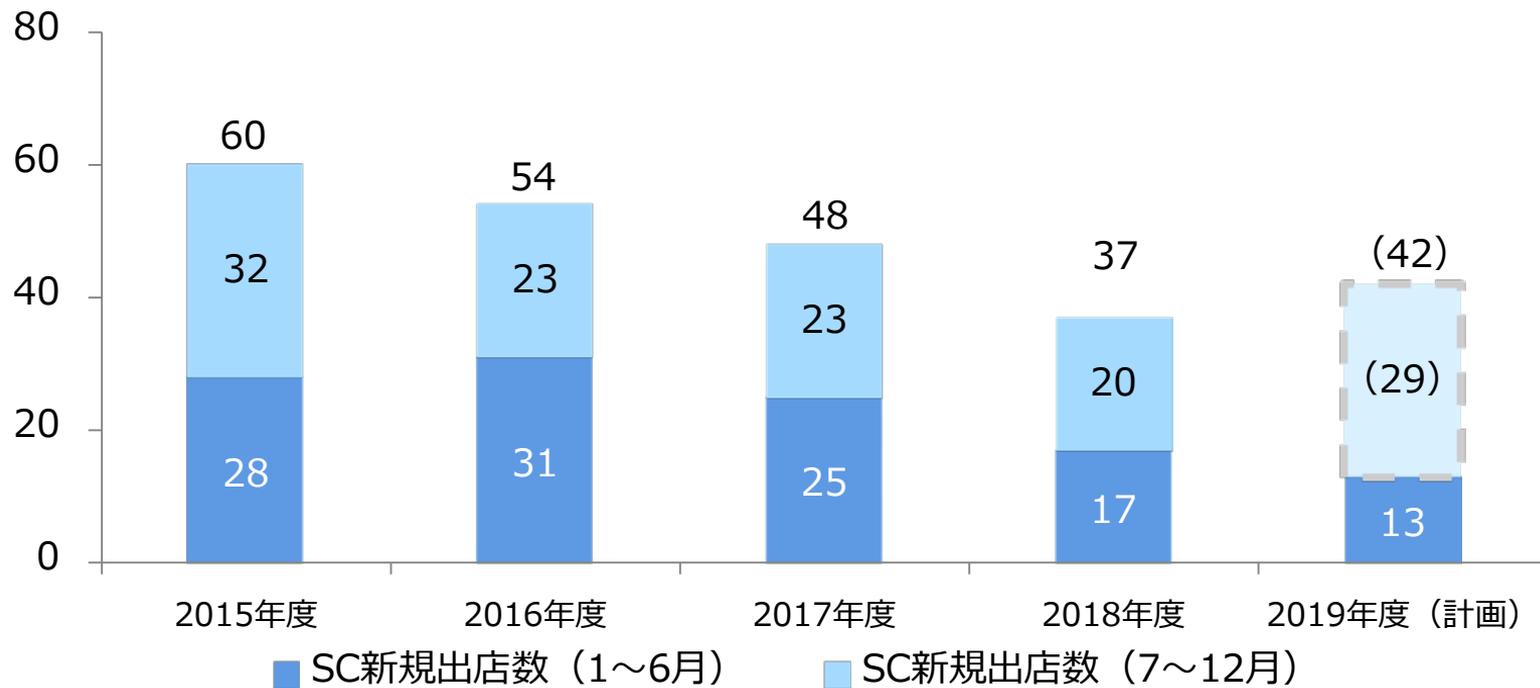
売上高及び営業利益推移



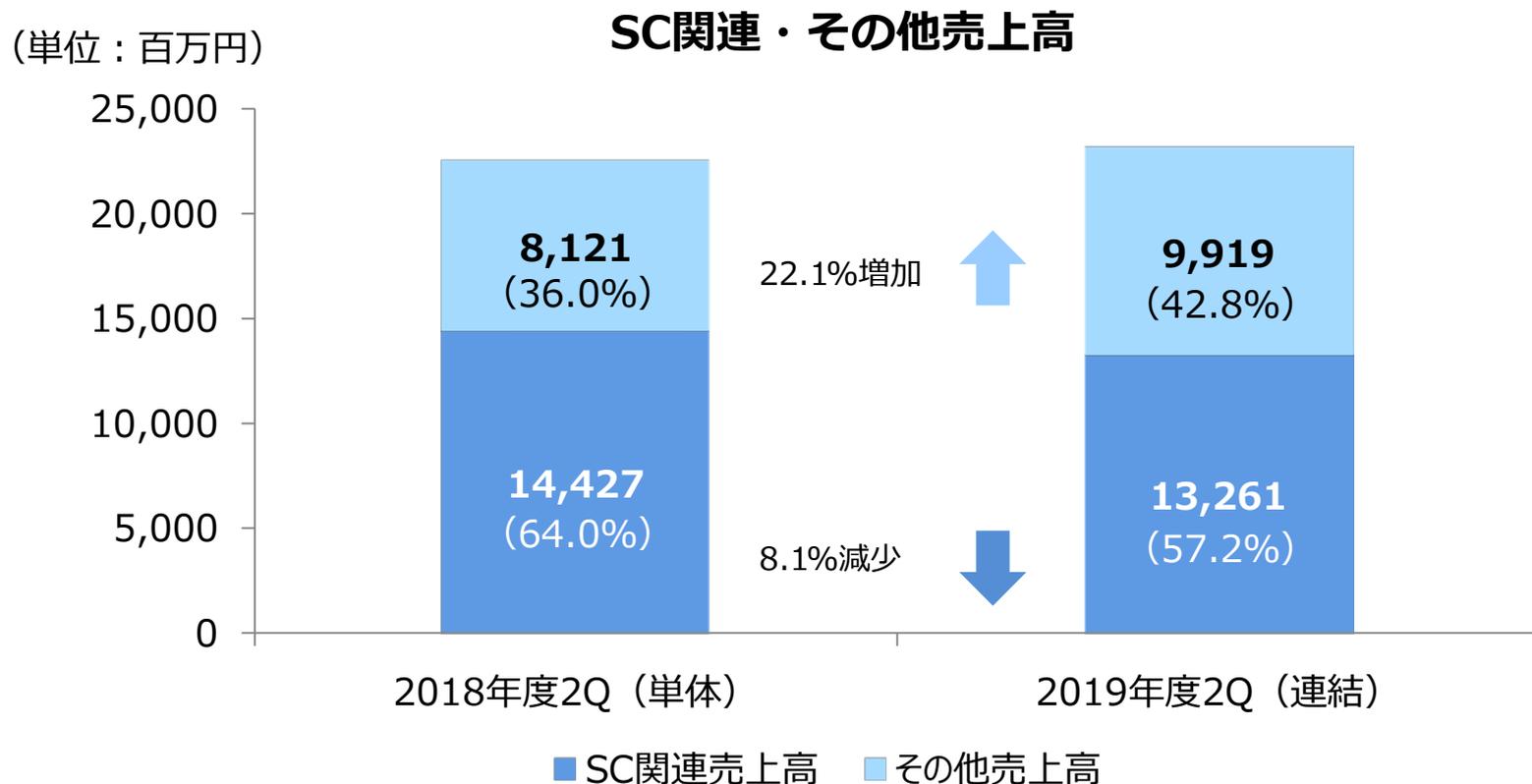
(単位：百万円)



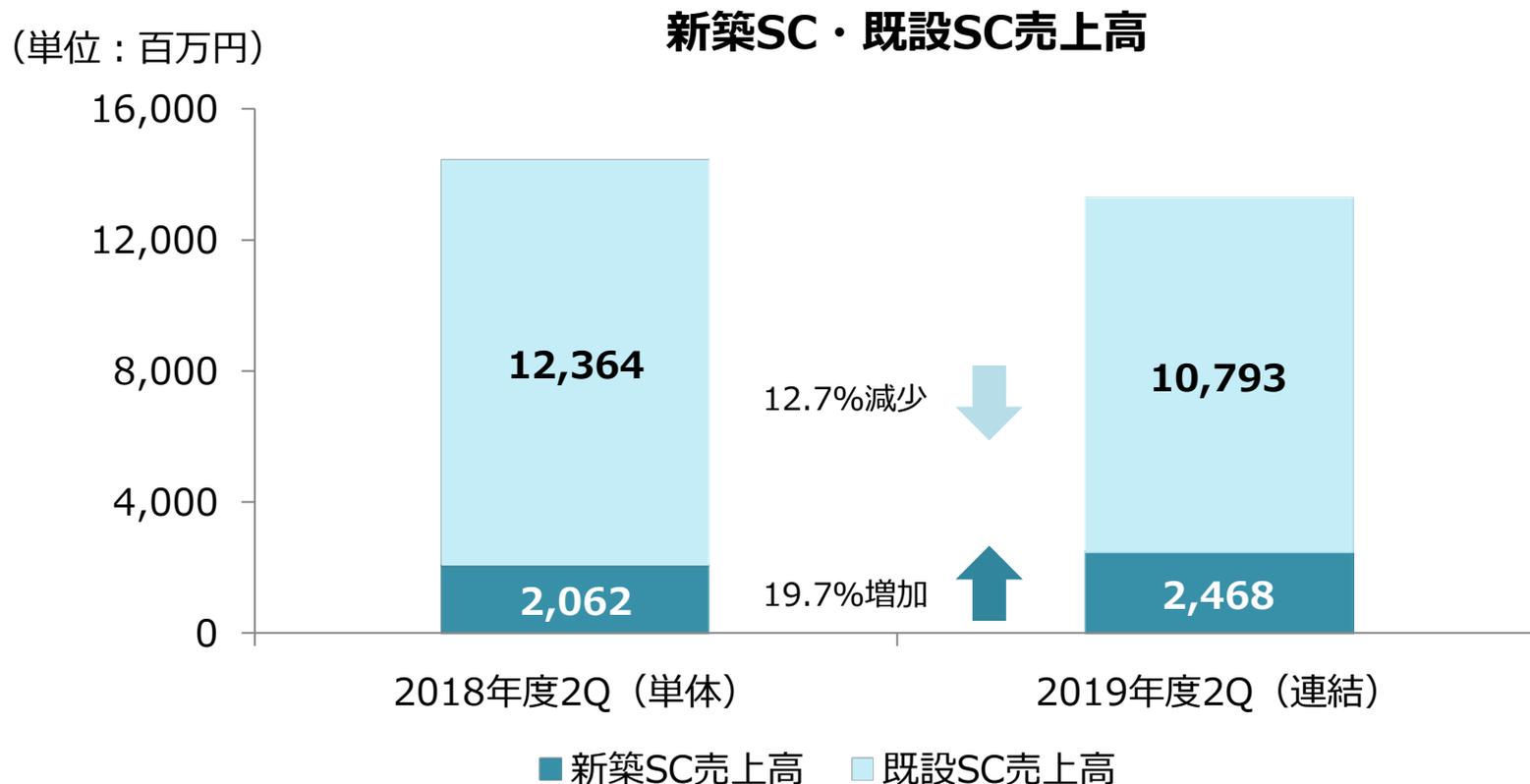
(単位：件数)



(出典)：一般社団法人日本ショッピングセンター協会 オープンSC情報



※2019年1Qより連結決算を開始したため、2018年2Qは単体数値を参考として掲載しております。



※2019年1Qより連結決算を開始したため、2018年2Qは単体数値を参考として掲載しております。

2. 2019年度 第2四半期決算の詳細

	2018年度2Q (単体)		2019年度2Q (連結)		前年同期比	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	22,548	100.0	23,181	100.0	633	2.8
売上総利益	2,957	13.1	3,336	14.4	379	12.8
営業利益	1,748	7.8	1,764	7.6	15	0.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,182	5.2	1,206	5.2	24	2.0
1株あたり当期純利益(円)	48.92	—	49.93	—	1.01	2.1

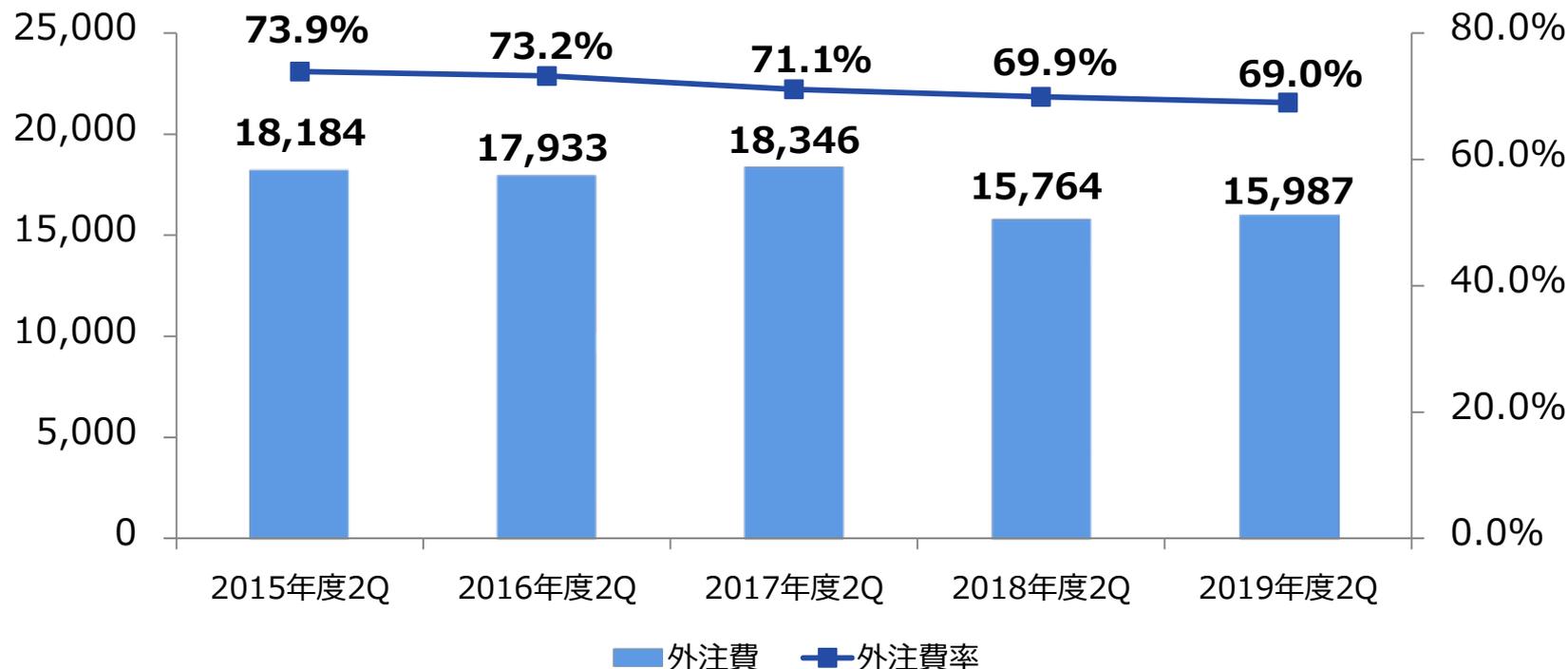
※単体の実績は当期純利益であります。2019年1Qより連結決算を開始したため、2018年2Qは単体数値を参考として掲載しております。

損益計算書

	2018年度2Q (単体)		2019年度2Q (連結)		前年同期比		備考
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
売上高	22,548	100.0	23,181	100.0	633	2.8	サービス関連の受注増加により増加
売上原価	19,591	86.9	19,845	85.6	254	1.3	外注費比率の減少により構成比は減少
売上総利益	2,957	13.1	3,336	14.4	379	12.8	売上高の増加により、利益率改善
販売管理費	1,209	5.4	1,572	6.8	363	30.0	人件費、IT投資、広告宣伝費の増加
営業利益	1,748	7.8	1,764	7.6	15	0.9	販管費が増加したものの、売上総利益の増加により増益
営業外損益	0	0.0	16	0.1	16	-	主な計上なし
経常利益	1,748	7.8	1,780	7.7	32	1.9	営業利益増加により増益
特別損益・法人税等	565	2.5	569	2.5	3	0.5	特別損益の計上なし
非支配株主に帰属する 四半期純利益	-	-	5	0.0	5	0.0	連結決算開始のため発生
親会社株主に帰属する 四半期純利益※	1,182	5.2	1,206	5.2	24	2.1	経常利益増加により増益

※単体の実績は当期純利益であります。2019年1Qより連結決算を開始したため、2018年2Qは単体数値を参考として掲載しております。

(単位：百万円)

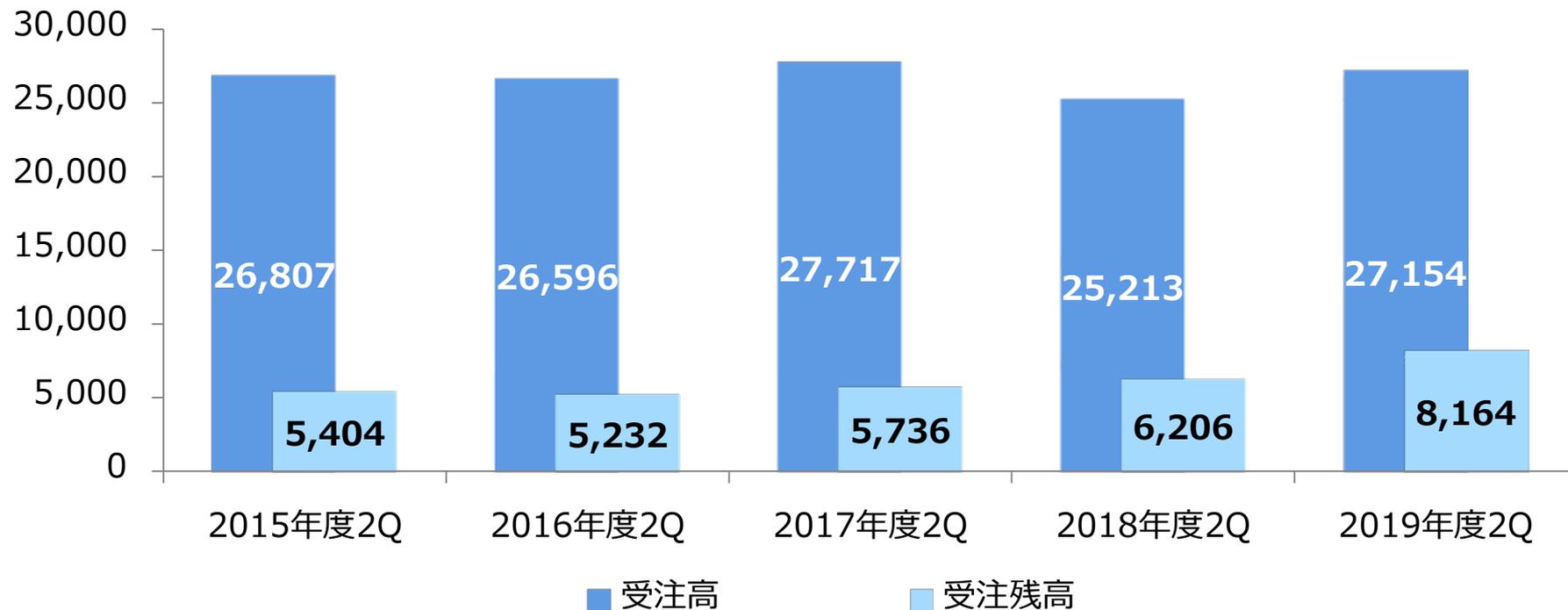


※2019年1Qより連結決算を開始したため、2015年2Qからは単体数値を参考として掲載しております。

	2018年度2Q (単体)		2019年度2Q (連結)		前年同期比		備考
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
複合商業施設 総合スーパー	4,087	18.1	3,902	16.8	△185	△4.5	SCリニューアル案件の減少により、 減収
食品スーパー コンビニエンスストア	2,716	12.0	1,813	7.8	△903	△33.2	コンビニエンスストアの出店抑制により、 減収
各種専門店	10,574	46.9	10,998	47.4	424	4.0	SC内のアパレルテナントの新装出店を 手掛けたことにより、増収
飲食店	2,633	11.7	2,817	12.2	183	7.0	新規顧客による飲食店舗を手掛け、 増収
サービス等	2,536	11.3	3,649	15.8	1,113	43.9	ホテル、保育施設、冠婚葬祭場を手 掛けたことにより、増収
合計	22,548	100.0	23,181	100.0	633	2.8	—

※2019年1Qより連結決算を開始したため、2018年2Qは単体数値を参考として掲載しております。

(単位：百万円)



※受注高及び受注残高については単体数値の推移を表示しております。

貸借対照表

科 目		2018年度 (単体)		2019年度2Q (連結)		前年未比		備考
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
資 産	流 動 資 産	21,004	63.1	23,423	65.6	2,419	11.5	完成工事未収入金及び未成 工事支出金の増加
	固 定 資 産	12,298	36.9	12,284	34.4	△13	△0.1	投資有価証券の減少
	資 産 合 計	33,302	100.0	35,708	100.0	2,405	7.2	—
負 債 ・ 純 資 産	流 動 負 債	3,835	11.5	5,642	15.8	1,806	47.1	工事未払金及び未成工事受 入金の増加
	固 定 負 債	1,923	5.8	1,964	5.5	40	2.1	退職給付に係る負債の増加
	負 債 合 計	5,759	17.3	7,607	21.3	1,847	32.1	—
	純 資 産 合 計	27,543	82.7	28,101	78.7	557	2.0	利益剰余金の増加
	負債・純資産合計	33,302	100.0	35,708	100.0	2,405	7.2	—

※2019年1Qより連結決算を開始したため、2018年度は単体数値を参考として掲載しております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

色	2018年度2Q (単体)	2019年度2Q (連結)	前年同期比 増減額	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,308	△36	△2,345	棚卸資産の増加及び売上債権の増加により支出
投資活動によるキャッシュ・フロー	△973	△440	533	有形固定資産及び無形固定資産の取得により支出
財務活動によるキャッシュ・フロー	△721	△700	△20	短期借入金返済及び配当金の支払により支出
現金及び現金同等物の増減額	613	△1,182	△1,795	—
現金及び現金同等物の期首残高	12,058	11,569	△488	—
現金及び現金同等物の期末残高	12,671	10,387	△2,284	前年同四半期末より22億8千4百万円減少

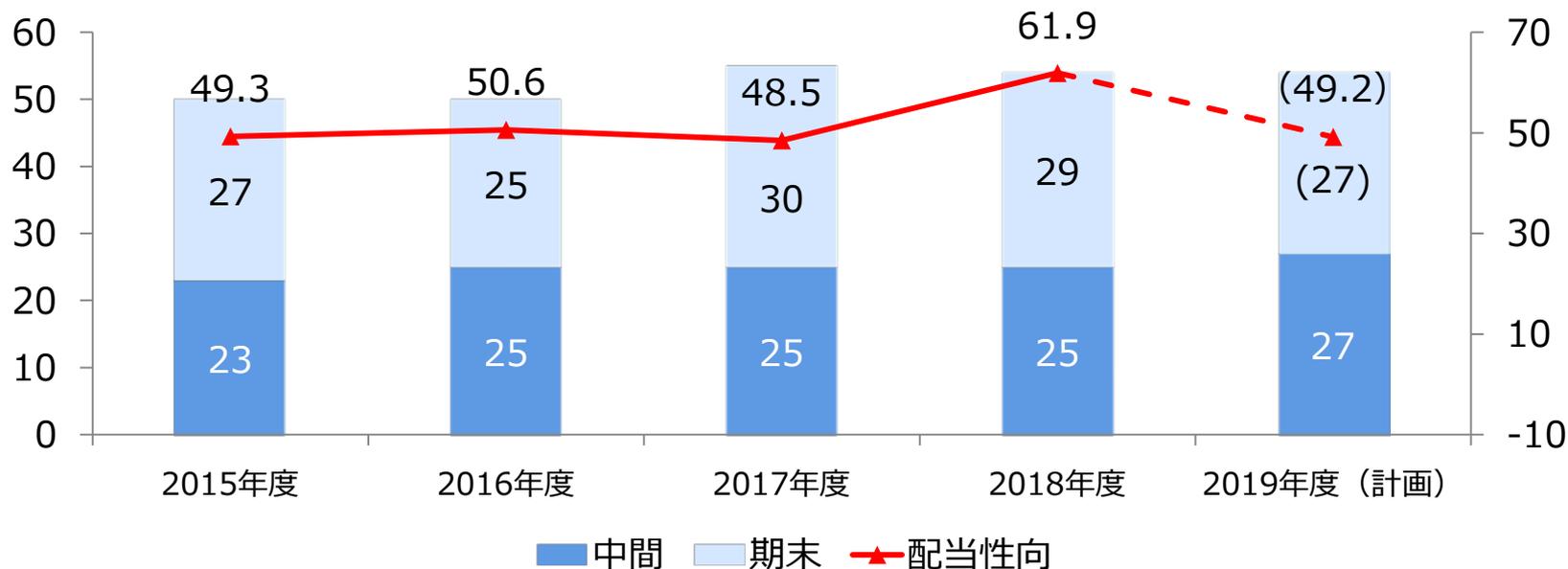
※2019年1Qより連結決算を開始したため、2018年2Qは単体数値を参考として掲載しております。

3. 2019年度の通期見通し

(単位：百万円)

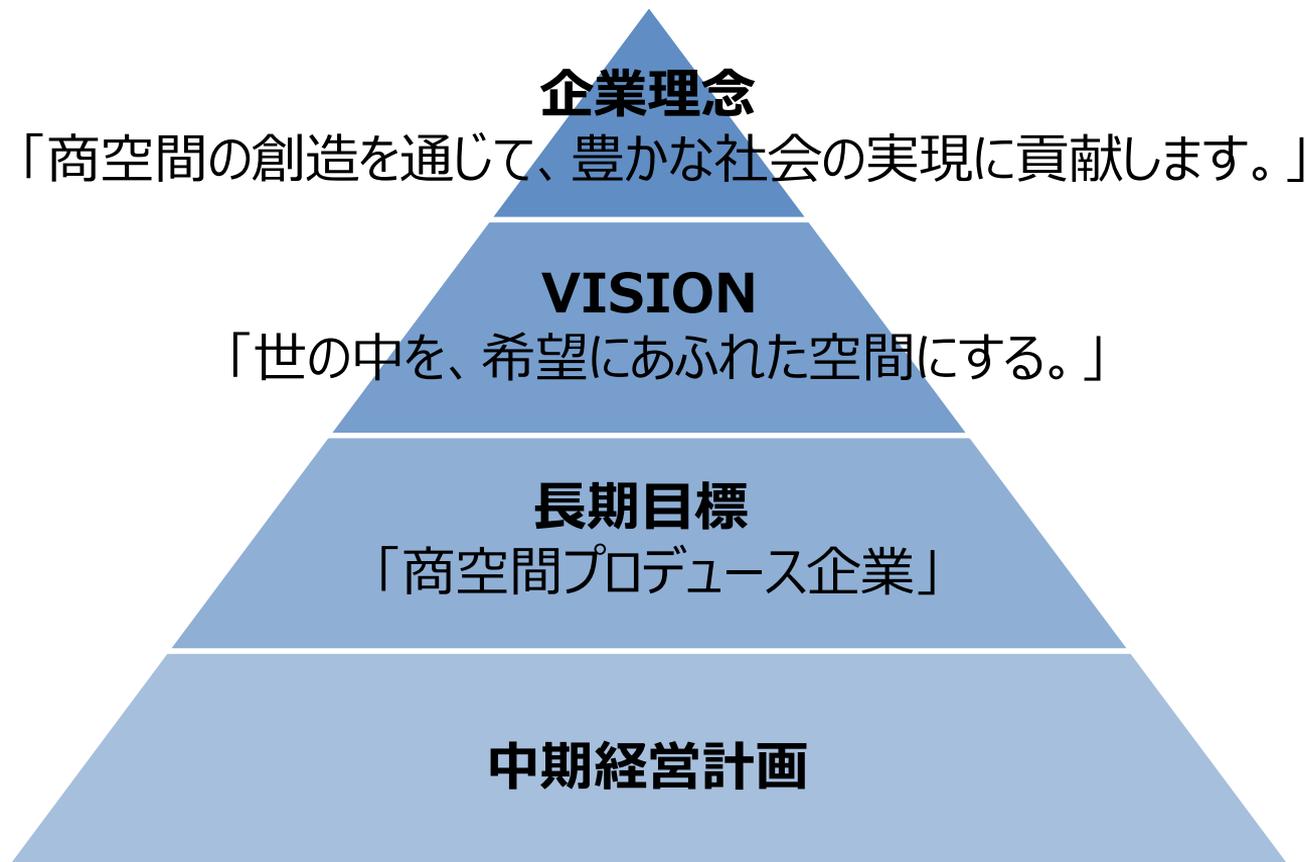
	2019年度2Q実績	2019年度2Q予想	達成率 (%)	2019年度通期予想
売上高	23,181	25,500	90.9	51,000
営業利益	1,764	2,100	84.0	4,000
経常利益	1,780	2,100	84.8	4,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,206	1,380	87.4	2,650
1株当たり当期純利益 (円)	49.93	57.11	87.4	109.66
年間配当 (円)	27.00	27.00	—	54.00

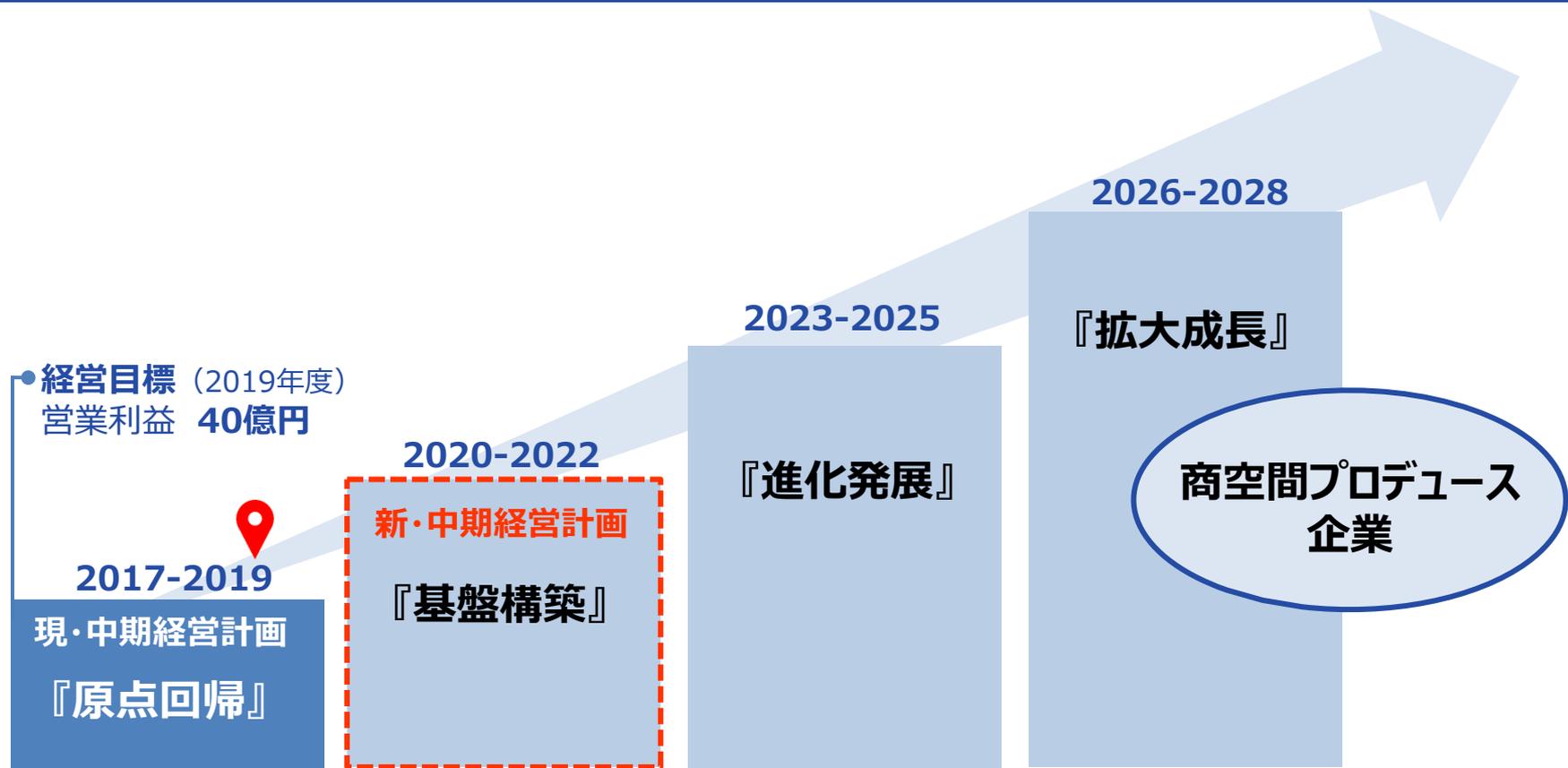
業績に連動した配当を維持し、配当性向50%を目指します。



※2018年は記念配当4円を含む。

4. 新中期経営計画（2020－2022）





“会社の成長 = 社員の幸せ”

■福岡事業部 オフィス移転



社員が生き生きと働き、
創造性を発揮できるオフィスへ

ニュースリリースとして
社外発信



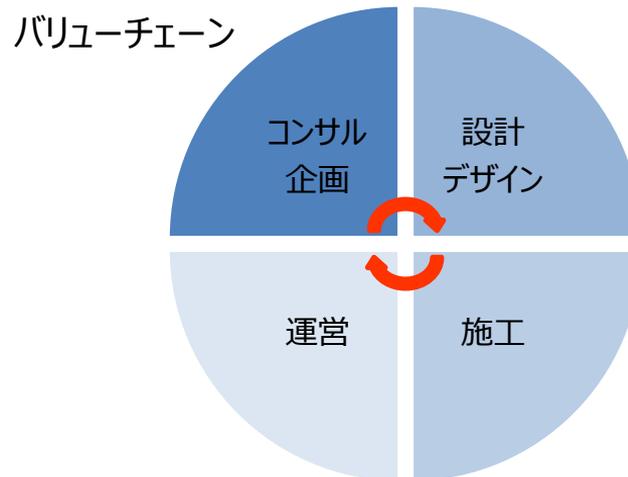
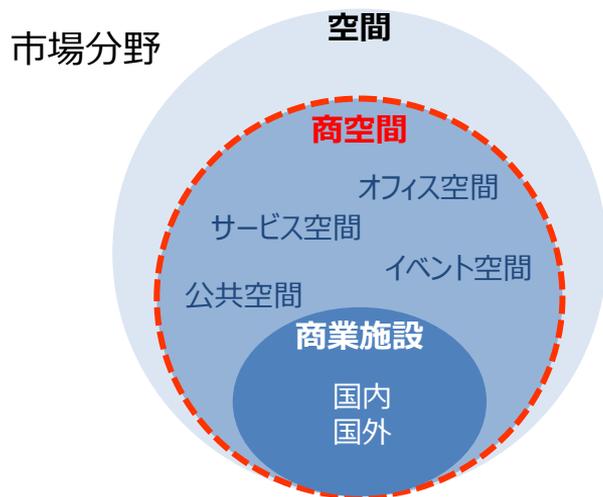
PR TIMESでの掲載・配信

テーマ『基盤構築』

抽出された課題に対応し、長期目標「商空間プロデュース企業」の実現に向けた基盤構築を行う

市場分野の拡大：商業施設以外の、オフィス・サービス・イベント・公共空間等への取り組み
海外企業の日本展開に対応できる組織・体制の整備

バリューチェーンの深耕：海外子会社、エム・エス・シーとのシナジーが十分に発揮される組織・体制の整備



5. 施工物件紹介

京都駅前地下街ポルタ西エリア リニューアル



クライアント: 京都ステーションセンター株式会社

当社担当業務: 設計、施工

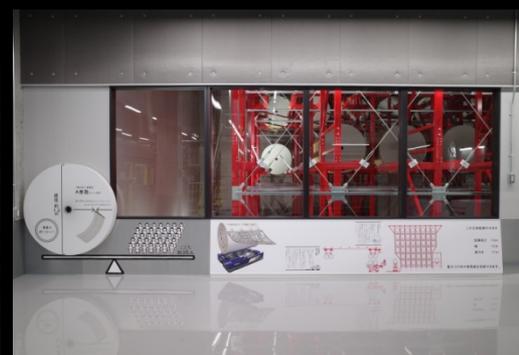
UNIVERSE 名古屋



クライアント: 株式会社ネクステージ

当社担当業務: 設計、施工

神戸新聞社播磨製作センター工場見学プロジェクト



クライアント: 株式会社神戸新聞社

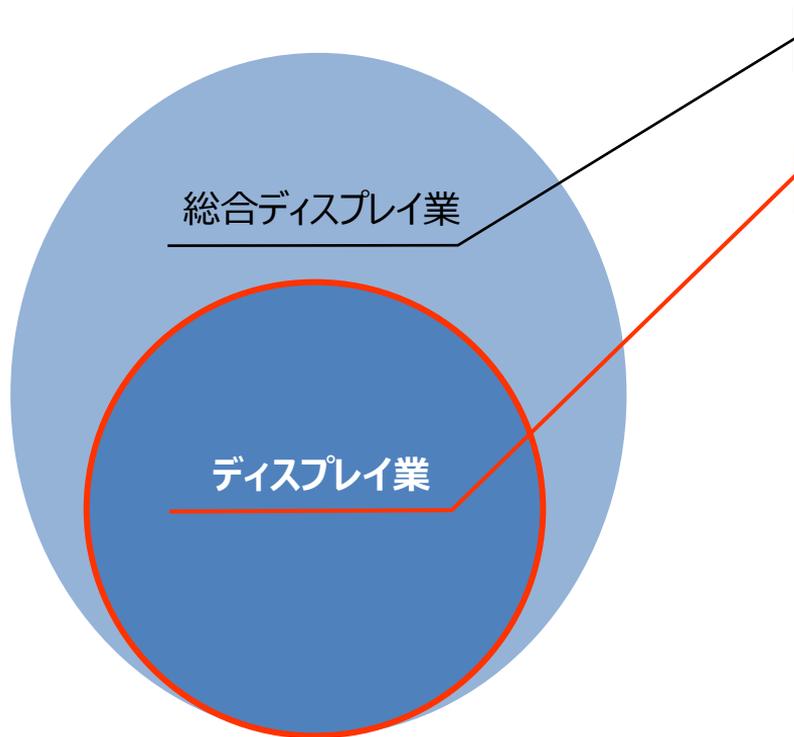
当社担当業務: 設計、施工

(参考資料)



スペースは1948年にガラスの卸商としてカトウガラス(株)としてスタート。
その後ガラスの陳列ケースからお店の内装など、店舗全体を手掛けるディスプレイ業へと転換

商号	株式会社スペース SPACE CO., LTD.
創立	1948年(昭和23年)7月
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:9622)
資本金	33億9553万円
従業員数	連結:953名 単体:935名(2019年6月末時点)
子会社	3社
営業拠点	国内14拠点 海外2拠点
事業内容	ディスプレイ業
決算期	12月31日



商業施設、文化施設、公共施設、博覧会、展示制作などの企画・設計・制作、施工監理を行う

主に商業施設や専門店など商空間の企画、設計、制作、施工監理を行う

複合商業施設・総合スーパー



食品スーパー・コンビニエンスストア



各種専門店



飲食店・サービス等





累計クライアント数
1,300社

発注件数
3,000件

年間受注物件数
16,000件

代表取締役社長

制作計画本部

制作本部

内装監理本部

大阪本部

名古屋本部

東京本部

商環境研究所

開発本部

海外本部

エリア管理本部

経営企画本部

人事企画本部

【参考】経営指標推移（単体）

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
売上高 (百万円)	25,853	29,228	32,970	36,684	42,235	48,249	51,371	49,243	50,746	46,458
営業利益 (百万円)	1,549	1,852	2,001	2,468	2,714	3,265	3,545	3,367	3,672	3,330
当期純利益 (百万円)	902	846	1,115	910	1,690	1,758	2,227	2,169	2,491	2,107
1株当たり当期純利益 (円)	35.91	34.92	46.15	37.66	69.94	72.77	92.17	89.77	103.09	87.21
総資産 (百万円)	24,504	25,536	25,163	26,357	28,302	28,805	30,783	31,362	33,257	33,302
純資産 (百万円)	19,637	19,667	20,269	20,639	21,752	22,622	24,053	25,137	26,571	27,543
自己資本比率 (%)	80.14	77.02	80.55	78.30	76.86	78.54	78.14	80.15	79.90	82.71
ROE (%)	4.58	4.31	5.59	4.45	7.98	7.93	9.55	8.82	9.64	7.79
ROIC (%)	4.24	5.30	5.79	8.44	7.17	8.57	9.46	8.74	9.51	8.30
1株当たり配当額 (円)	28.00	22.00	27.00	28.00	40.00	46.00	50.00	50.00	55.00	54.00
配当性向 (%)	70.88	58.15	53.18	67.58	51.99	57.46	49.31	50.63	48.50	61.91

※2018年度に1:1.1株の株式分割を行っております。2009年度より当該株式分割が行われたと仮定して「1株あたり当期純利益」を算定しております。

明日が、笑顔になる空間を。

SPACE

IRに関するお問い合わせ

総務部 広報課

(ir_info@space-tokyo.co.jp)